

復刊 いざみ



目次

P.1 みどりの風につつまれて

P.2-3 文化講演会
「渋沢栄一の
歴史的役割と人物像」

P.4-5 所沢・はじめて物語

P.6 図書館見学

みどりの風につつまれて 永窪綾子

モンゴル—白鵬や鶴竜など強いお相撲さん、チンギスハーンなど歴史で学んだこと、モンゴル民話『スーホの白い馬』など、少しは知っていたが、自分には関わりのない国だと思っていた。そんな私がモンゴルに強い関心を持つようになったのは、ご近所の知人がモンゴル留学生のお世話をされていて、ご自宅で馬頭琴のホームコンサートや交流会が開かれた折りに参加したのがきっかけだった。

以来、モンゴルに魅せられ行ってみたいという想いが募った。そしてある年の夏、その想いをかなえることが出来た。

モンゴルの地を一步踏むと、心に響く馬頭琴の音色、草原にしみ渡るホーミーの歌声。羊の群れや馬の嘶き。大草原を吹き渡る緑に染まった風。夜空に降りそそぐ満天の星々……。私はモンゴルの風を胸いっぱい吸いこんだ。

また、果てしない砂漠を初めて自分の目で見たり、モンゴル独特の食事やゲルでの宿泊、乗馬体験などを通じて、厳しい自然条件の中で生活する現地の人たちとふれ

合うことが出来たのは私の貴重な財産となった。

モンゴルの朝

あかるみはじめた 東の空
私は その時をまつた

はるかな大草原の むこうから
のぼってくる太陽

ばあーっと ほゝを照らす
と同時に

ダークブルーの大地が
みどりの大草原に かわる

届いたばかりの
朝一番の光

私は両手にすくって
いつきにのみほした

モンゴルの大草原の
爽やかな 朝の一杯を

(詩集『みどりの風につつまれて』より)

帰国した私は、旅の感動、思い



切り紙絵：永窪綾子

出や体験などを手作りの詩集『てのひら詩集』に収めて皆さんに読んでもらっているが、ある日、それを見た出版社から詩集として刊行する話がもちあがり、折りしもモンゴル・日本国交樹立40周年に当たる年に『みどりの風につつまれて』を出版した。また45周年には『はるかな大空のむこうから』を出版することも出来た。

また、手作り詩集『てのひら詩集』は引き続き発行していて、今36号を数えている。

ながくほ あやこ
永窪 綾子

一九四三年、兵庫県養父市生まれ。

少年詩、童話、絵本を執筆。日本児童文学者協会会員、東北アジアの会会員。

詩集『何かいいことが起こりそうな』

(らくだ出版) 『みどりの風につつまれて』
(ユーフォーブックス) 『はるかな大空のむこうから—モンゴルの旅—』(同) 他多数出版。



渋沢栄一の歴史的役割と人物像

一百万の肖像・真打登場!!

講師 塚田 允氏 令和元年七月二十七日(土) 会場：所沢図書館

皆さんこんにちは。

皆さんとお会いできて大変うれいす。渋沢栄一がここに立っていたら、必ずこの言葉を言ったと思います。

渋沢栄一は、人が大好きなんです。人を幸せにすることを大事にしたのですね。

このベースがあったから五百の会社、六百の福祉事業に携わることができたのだと思います。

渋沢栄一が、生まれたのは一八四〇年、アヘン戦争の年。亡くなったのは満州事変の年。国内外で五つの戦争があった激動の時代に九十二年間の人生を送りました。

どういう環境で育ったかという、田舎です。情報源の利根川、その向こうに日光連山。上毛三山。そして、真正面に、いつ見ても自分のスタンスを持っている赤城山。この赤城山と論語ですね。これが栄一の精神形成上と思想上に大きな役割を果たしたのではないのでしょうか。

渋沢栄一が生まれた家は、妻と養



蚕、藍玉の製造、それから藍玉の販売をしていました。そして、五歳の頃から論語などを勉強していました。漢詩、十八史略とかです。それから剣道。十歳の頃から、おじいちゃんに書も教えてもらっています。お米はできなかったが、ものすごくいい環境で育っている、ということは事実だと思うのです。

また、十三歳の頃から、たて藍を買い付けに行っています。これがうまくいったのです。お父さんやおじいちゃんのやり方を見て、品質の見極めや人に接することの大事さを学んだからじゃないかなと思うのですね。これが、渋沢栄一の人間関係の構築の一助になったと思います。

さらに、栄一の人生にとってキーマンとなる徳川慶喜や大隈重信、伊藤博文、西郷隆盛等という人たちに会おう「強運」があります。

十六歳の時、お父さんの代わりに、岡部の陣屋に行くことができました。そこで、お役人から無理なことを吹っ掛けられました。良い返事をしなかったら、罵詈雑言を言われ、自

分が百姓商人だということを、嫌という程思い知らされました。この時のショックが後の徳川幕府を倒す、という思いにつながったようです。

二十二歳の時に取引先の番付表を作り、宴会を開きました。すると、なんである若いのが俺の上座なんだから、荒れたみたいです。どういう基準で大関・関脇などを決めたいと思いますか。たて藍の品質です。いいものを作れば信用が高まる、高く売れると説得しちやつたそうです。翌年から、皆さんの目の色が変わったそうです。この後、これがどういう組織に活かされたと思いますか。東京商工会議所の設立です。

二十四歳までの養蚕経験、学問経験、藍玉の製造販売、商人経験、そして、こういう組織を作る経験。これが全部、後で生きてくるのですね。

次に渋沢栄一の行動です。十六歳の時に嫌な経験をしました。そのころもあって、徳川幕府を倒す。加えて、横浜に白人がいるので、日本もアヘン戦争の中国のようになってしまっているのではないか、国民の安全、幸せのために、これをなんとか防がなくてははいけない。だから、攘夷をしようと思いました。

二十四歳の時、たった百姓七十名

(内武士五名)で、高崎城を乗っ取り武器を奪い、横浜に行き、白人を斬るといふ計画をたてました。でも、決行直前に中止です。情報が漏れて国家反逆罪で指名手配されます。

そこで、京都へ行って一橋慶喜と会います。なぜ出会えたか。人脉です。二十歳の頃、江戸の海保漁村塾で一橋慶喜の側近の平岡四郎と出会って、気に入られていました。それをつてに会いに行き、平岡四郎は、すぐに一橋慶喜に推薦してくれました。

そして、二十五歳で一橋家に仕官し、武士になるとすぐに、自前の兵隊を持ちましようとして慶喜に提案します。では、備中・播州・泉州に行つて、兵隊を集めてこいと言われ、渋沢栄一は苦勞して六百人集めてきました。兵隊を集めている傍らで、別のこともやってきました。あちらはいいお米ができます。ほかにも綿花、硝石。そのお米を大阪の酒造会社にする会社を作りました。綿花、綿一橋家の財政を、三年で立て直してしまいました。

ところが、三年後、慶喜が第十五代將軍徳川慶喜となります。渋沢栄一、これはショックだったみたいで

す。徳川幕府を倒そうとした人間です。すからね。その時の渋沢栄一の所属は、徳川幕府の陸軍奉行所でした。

一八六六年十二月、その奉行所に、京都見廻組の大沢源次郎を捕まえろと指示がきたのです。国家反逆罪で指名手配。これがまた、腕が立つ人だったから、奉行所も心配して栄一に新選組をつけましたが、栄一は、新選組を外に置いて、大沢がいるお寺に踏み込んで、近藤勇と二人だけで捕まえてしまいます。まさに男の背中ですね。正義、動じない、責任感がある。こういう所は、渋沢栄一の言動の随所に見られます。

この直後、突然フランスへ留学することになります。仕事は、慶喜の弟の徳川昭武の身の回りの世話と金庫番です。このフランス行きは、渋沢栄一にとって、幸運で良い結果を生みます。

まず、強運ですね。一八六七年一月横浜出港です。この後、大政奉還、坂本龍馬暗殺、上野彰義隊、戊辰戦争などが起きます。こんなやばいときに日本にいないのです。本当にこの人は運がいいですね。

フランスへ行くまでの間に香港・上海・マカオ・シンガポール等の植民地をみているのですよ。その悲惨な

状態をみて、日本を絶対に植民地主義にしては駄目だと思いました。

スエズを馬車で通ったとき、スエズ運河は造成中でした。あの大事業を民間がやっている、この事は、後の渋沢栄一の判断に大きな影響を与えたと思うのですね。

フランスでは、二年間、フランス人の銀行家と仲良くなります。銀行って、情報が一番集まってきます。外交、産業、政治、教育、物流等、相当な情報を得たと思います。

そして、帰って来たらもう明治元年。翌年、大隈重信から大蔵省に來いって誘われ、入省直後、富岡製糸場を作る責任者となりますが、渋沢栄一の基本的な考え方は、税金は国民のために使う、残ったら軍費。大隈等とは全然意見が違うのです。

でも、渋沢栄一は、一人一人は全部素晴らしい長所を持ち、また、自分不足している所もいっぱいある、それを他の人にカバーしてもらおう、という考え方の人でした。だから意見が合わなくても、良好な交友ができたのですね。

そして、大蔵省にいたことで、大隈重信、大久保利通、伊藤博文、井上馨、木戸孝允、勝海舟、西郷隆盛、三条実美、岩倉具視等、明治時代を

作った人々とも出会えたのですね。

また、廃藩置県においても、各藩にあつた膨大な借金をうまく処理しています。その他に、携わったのは、小学校制度、銀行制度、鉄道制度、郵便制度、経費削減等です。

しかし、問題の欧米視察の岩倉具視一行が帰ってくる二か月前に、渋沢栄一は大蔵省を辞めていたので、大久保利通と西郷隆盛の確執の渦中に巻き込まれなくて済んだみたいですね。西郷とは一橋家にいたときに知り合つて、非常に仲が良く、意見が一致した部分があつたみたいですね。

一八七三年、渋沢栄一は日本で最初の銀行、第一国立銀行を作り、紙幣の紙を作るといので王子製紙、日本で最初の株式会社を作りました。

こうして、渋沢栄一は、五百の会社の設立に関与しました。会社が軌道に乗ると、若い人に事業を委ね育成しました。会社が儲かったら株を持たずに、一人でも多くの人に配当して、一人でも多くの人に幸せになつてほしい。自分のスタンスは、常にしっかり持つて人生を送つてみたいですね。

さらに、携わつた福祉事業は、六百だそうす。これは、お母さんが非常に慈悲深い方だったそうで、そ

ういう遺伝子が大きく影響したと思います。日本の国家予算の半分が軍事予算という時に、福祉に予算なんかいきませんよね。栄一は現在のお金で十八億円寄付しました。また、渋沢栄一が先頭に立つと本当に多くの寄付が集まつたみたいですね。

最後に、世界恐慌がありました。日本に二十万人くらい生活困窮者ができました。それを救おうとできなかったのが救護法。けれども、なかなか予算化しないので、困つた関係者が栄一のところ相談に來ました。その時、九十一歳で病氣だったにも拘らず、話を聞いて、医者が止めるのによしわかつた、これから大蔵大臣の所に行つてくる、二十万人の命が助かるなら、俺は死んでも本望だと。渋沢栄一の信念は、常に自分の事より、みんなの幸せのために何ができるか。これが一番大事だったみたいですね。人が好きだったのですね。渋沢栄一を学べば、日本の近代史がよくわかります。皆さん、よかつたら渋沢栄一記念館へもぜひお越しください。

《講師紹介》

塚田 允 氏

渋沢栄一記念館解説員
龍門社 深谷支部幹事

所沢・はじめて物語

所沢の地を舞台に、日本や地域における歴史が生まれ、そして数々の記録が刻まれていきました。その一部をご紹介します。

航空発祥の地

明治42年7月、勅令により臨時軍用気球研究会（以下「研究会」という）が陸軍工兵師団に発足し、航空機に関する研究が開始されることになりました。研究会は試験場候補地を探し、いくつかの候補地を検討した結果、当時の所沢町から松井村周辺の地域に決定し、わが国で初めての飛行場が開設されることになりました。落雷の危険が少ないことや起伏が少ないことが選考の理由とされています。飛行場の整備は、明治43年10月に着工され、格納庫・気象測定所・軽油庫・滑走路などがつくられました。また、飛行機を運搬するために、所沢駅からの新道を通しました。現在、御幸町にある飛行機新道と呼ばれている道です。



航空発祥の碑

所沢飛行場での初飛行は、明治44年4月5日午前4時に開始されました。まず、徳川好敏大尉のアンリ・ファルマン機が5時10分、約10mまで飛揚し約1分で着陸。続いて、日野熊蔵大尉のライト機は、50m上昇し、飛行距離4000m、飛行時間は3分30秒でした。日野大尉は同日、2回目の飛行により、120mに上昇し、飛行距離17.5km、飛行時間18分に達しました。このデータが、当時の新記録でした。

また、同年6月9日早朝、徳川大尉は、アンリ・ファルマン機で、川越往復飛行に成功しました。最初の場外飛行ともいべき壮挙で、

高度450m、距離42km、35分にわたる飛行時間でした。

そのほか、研究会が製作したわが国初めての国産軍用機「会式1号機」(※)が、明治44年10月13日に初飛行に成功、所沢飛行場で作られた飛行船「雄飛号」が、大正5年1月21日所沢から大阪までを初飛行など、数々の記録が所沢飛行場で生まれていきました。日本の航空史は、まさに所沢から始まった、ともいえます。

※会式1号機：臨時軍用気球研究会式、略して会式と命名された。当時は、設計・製作を監督した徳川好敏に因んで「徳川式」とも呼ばれていた。



アンリ・ファルマン機
所沢航空発祥記念館にて展示中

【参考文献】

『所沢市史 下』所沢市史編さん委員会編 所沢市

『ところざわ歴史物語』所沢市教育委員会編 所沢市教育委員会

『雄飛』所沢航空資料調査収集する会編 所沢航空資料調査収集する会

木村・徳田両中尉墜落事件

大正2年3月28日、木村鈴四郎陸軍砲兵中尉と徳田金一陸軍歩兵中尉の両名が操縦するブレリオ式飛行機が所沢飛行場を目前にして墜落し、わが国初の航空機事故による犠牲者となりました。この日、陸軍省が航空機の重要性を説くため、青山練兵場で行った観覧飛行の帰路、両中尉の搭乗したブレリオ機が午前11時59分高度300mを飛行中、突風を受けて左翼が折れ、旧松井村下新井柿木台に墜落しました。

現在、航空記念公園に両中尉記念塔、墜落地には「木村・徳田両中尉殉職記念碑」が建っています。



両中尉記念塔



木村・徳田両中尉殉職記念碑

保健所発祥の地

昭和12年、東京市・京橋の「都市保健館」と共に、公衆衛生の技術者養成の機関として、所沢に「農村保健館」（埼玉県特別衛生地区保健館）が開設されました。この保健館は今日の保健所の先駆けとなったことから、所沢は「保健所発祥の地」といわれています。



保健所発祥の地と
保健所発祥之地由来記の碑

この保健所があつた場所は、所沢駅の東側付近で、現在、駅ロータリーの中央通り入口付近に「保健所発祥の地」の碑と「保健所発祥之地由来記」の副碑が設置されています。副碑には、次のように書かれています。

「昭和5年 米國ロックフェラー

財団からわが国に公衆衛生技術者教育機関を寄付する意向が示され、昭和6年 中央に教育機関の公衆衛生院を置き、都市及び農村地区にそれぞれその臨地訓練機関の保健館を設置することになった。（中略）

昭和12年1月4日 本県は所沢町に県立特別衛生地区保健館の設置を告示し、町村組合共同病院内に仮事務所を置き、農村保健館の業務を開始した。（以下省略）

所沢が設置場所選ばれた理由の一つは、当時所沢町外6カ村（富岡村、山口村、小手指村、吾妻村、松井村、柳瀬村）による町村組合立の病院があり、その設備や活動が評価されたためといわれています。保健館は昭和13年町村組合立病院に隣接して建てられ、全面的な活動を開始しましたが、昭和16年に保健所法に基づいて、所沢保健所と改称しました。

この保健館の初代館長は、与謝野寛・晶子夫妻の長男である、与謝野光でした。

光は、のちに「全国各県と六大都市から各1名の所長候補者が選ばれて、所沢駅前の旅館に缶詰となつて、数日間講義や、実習に励

まれたことも懐しい想ひ出である。（中略）保健所の幾多の輝かしい成果に就ては語る人もあることであらうから略すとしても、結核予防対策としてのBCG接種は初めて所沢で実施されたのであるし、ツベルクリン反応判定基準も此処で研究されて決まった事を書き誌して置きたい。」（『農村保健館40周年を記念して』と書いています。

また、光の妻迪子は、その時の様子を「昭和十三年の春、私達は所沢に町役場のきも煎りで、よい貸家を見つけて貰い引っ越した。駅からは少し遠いが、広い家で庭

もかなりあつた。一坪ほどのたたき踏み込みに四畳半の玄関、本床つきで広縁もついた八畳の座敷を入れて階下が四間に二階が二間のまだ新しい建物でゆったりして、南面のつき山のある庭にはよい枝ぶりの木などが植えてあつて心地よかつた。（中略）光は保健館の開館式をひかえ、その準備に日々追われていた。日本で初めての農村保健所第一号として、米國で学んだことを生かし、いかに日本にそれをうまく取り入れるか、集められた人材は、その道のよりぬきの人達、（中略）そばにいる者

まで心のたかぶりを感ずるような意気こみで活気にあふれ、町の人たちの心を動かすものがあつた。時は公衆衛生の黎明期、理想と信念に燃えた若々しい一団の門出であつた。」（『想ひ出』）と書いています。

所沢保健所は、その後、昭和39年に現在のけやき台に新築移転しましたが、平成22年に保健所再編に伴い狭山市稲荷山に移転、「狭山保健所」として現在に至っています。



農村保健館跡の碑
（長者久保公園内）

【参考文献】

- 『ところざわ歴史物語』所沢市教育委員会編 所沢市教育委員会
- 『所沢市医師会史』所沢市医師会史編集委員会編 所沢市医師会
- 『農村保健館40周年を記念して』農村保健館記念碑建立発起委員会 日本公衆衛生協会
- 『想ひ出』与謝野迪子著 三水社
- 『埼玉県医師会史 戦前編』若林巖編著 埼玉県医師会

図書館見学ってなあに??

所沢図書館では、図書館に親しんでもらうために、子どもたちを対象に、利用方法や館内の説明をする図書館見学を行っています。希望により、同時に、おはなし会・自由読書・個人貸出も行っています。

本館では、今年の4月から11月までに、小学2年生の皆さんが9校・896人も来てくれました。

この図書館見学がどのように行われるのか、その様子をご紹介します。

まず初めに、図書館の中で静かにすることなどを約束して館内に入ります。



電動書庫に興味津々

次に、クラスごとに分かれて、各階を巡りながら説明を聞きます。

特に、普段は入れない場所に入ると、皆、嬉しそうな様子です。1階にある電動書庫では、書棚が動くのを見て「おおっ」と驚きの声が上がります。図書館の中が入り組んでいるため、迷子にならないようについて行きます。

1階では児童書の本の並べ方の説明を受けた後、室内を見学します。2階では画面に触ると本の情報が分かる、デジタルサイネージに釘付けです。3階では、分厚い事典類が並ぶ本棚の間を緊張しながら通ります。

おはなし会では、怖いおはなしに小さく飛び上がったたり、楽しい絵本に笑い声が起きたりします。

図書館の利用案内や質疑応答では、皆、熱心に手を挙げて、発言がなかなか途切れません。

自由読書の時間がある場合には、それぞれ好きな本を熱心に読む姿や、お友達と仲良く1冊の本を読む姿などが見られます。終了時間ぎりぎりまで本を離さない子もいました。

帰り際に、「図書館は初めてだけれど楽しかった」「また、来るね」などの感想を言われると図書館員として嬉しく思います。見学当日

の夕方に、お母さんと本を借りに来てくれた子もいました。

図書館見学をきっかけに、本や図書館のことを好きになってもらえれば、こんなに嬉しいことはありません。

来館された時に図書館見学が行われている場合は、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



利用案内の様子

編集後記

今回は「所沢・はじめて物語」と題し、全国で所沢に初めてできたものを紹介しました。私は所沢市出身ですが、所沢が保健所の発祥の地であることを、今回初めて知りました。まだまだ所沢について知らないことがたくさんあります。図書館を活用して、所沢についてもっと学びたいです。(一)

編集発行：所沢市立所沢図書館 〒359-0042 所沢市並木 1-13

ホームページアドレス パソコン <https://www.tokorozawa-library.jp>

スマートフォン <https://www.tokorozawa-library.jp/opw/OPS/OPSINDEX.CSP>

電話 / FAX

本館	04-2995-6311 / 04-2992-1421	富岡分館	04-2943-3636 / 04-2943-6680
所沢分館	04-2923-1243 / 04-2928-8195	吾妻分館	04-2924-0249 / 04-2928-8250
椿峰分館	04-2924-8041 / 04-2928-8148	柳瀬分館	04-2944-4023 / 04-2945-7236
狭山ヶ丘分館	04-2949-1193 / 04-2949-8577	新所沢分館	04-2929-1905 / 04-2929-1906
松井小学校図書館	04-2992-2796 / 04-2992-2797		

2019年12月20日発行 復刊いずみ23号 (通巻101号)